

令和五年十二月七日提出
質問第一〇九号

脱炭素社会実現に向けた水素拠点形成及びサプライチェーン構築の支援に関する質問主意書

提出者 城井 崇

脱炭素社会実現に向けた水素拠点形成及びサプライチェーン構築の支援に関する質問主意書

北九州市は、二〇五〇年ゼロカーボンシティを宣言するとともに、二〇三〇年度までに温室効果ガスを二〇一三年度比四十七パーセント以上削減する目標を掲げて、環境と経済の好循環の実現を目指して取り組んでいる。そこで、脱炭素社会実現に向けた水素拠点形成及びサプライチェーン構築の支援に関して、以下質問する。

一 北九州市は、福岡県、関連企業・団体、大学と設置した福岡県水素拠点化推進協議会において、今後国が予算化を検討している水素の供給インフラ整備及び液化天然ガスとの価格差の支援制度の獲得を目指して、地域の特性を最大限に生かした水素供給インフラの整備、企業による水素利用施設の導入等に関する水素拠点形成計画を策定している。北九州市の響灘地区は、洋上風力、太陽光、バイオマスなど豊富な再生可能エネルギーを活用したグリーン水素製造、コークス由来水素など水素社会実現に貢献する可能性を有していることから、響灘地区を中心とした水素拠点形成及びサプライチェーンの構築に関する財政を支援するため、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識と具体的な取り組みについて明らかにされたい。

右質問する。